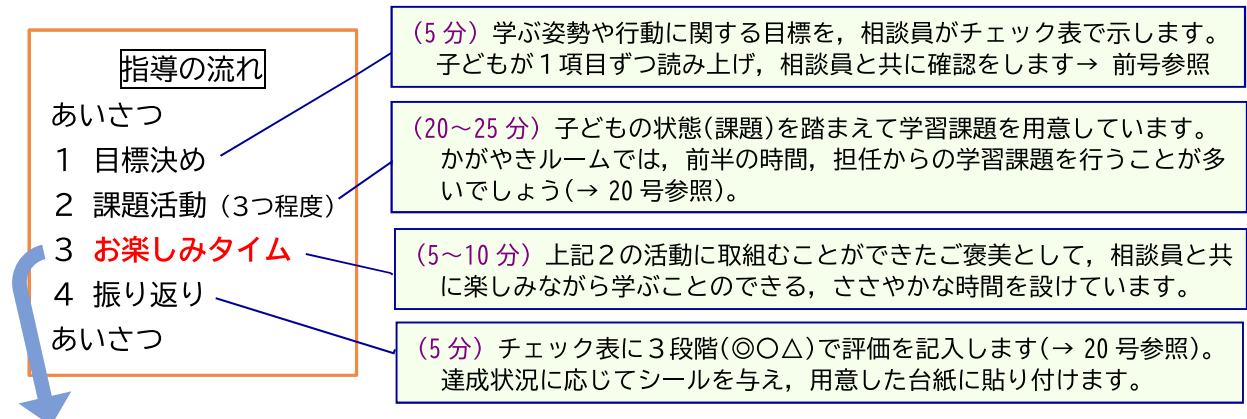


出前かすた版 “お楽しみタイム”

“出前かすた”の1授業（45／50 分間）の指導の流れは、おおむね次のようになっています。あくまで一つの例ですが、通級指導教室やかがやきルームの指導の参考になればと思います。



「お楽しみタイム」は、子どもにとっては正にお待ちかねの時間ですが、相談員にとっては指導（S S T等）の一環として大事な活動の時間です。現在、出前かすたで取り入れているお楽しみタイムの活動メニュー（選択肢）は次の5つです。

① ジェンガ	② ぐらぐら	③ 木の葉	④ トランプ (ババ抜きなど)
①～③は、集中力、慎重さ、バランス感覚、先を見通す力、手先の器用さ、失敗時の気持ちの切り替え、成功を喜び失敗は許容する心、その際の言葉かけのスキルなどが求められます。		④⑤は、様々なルールを理解して守ることや、勝敗を許容する心、勝者・敗者への言葉かけのスキルなどが求められます。	

今日、何をやるかは、活動メニューの中から子どもが選びます。子どもがやりたいことを自由にやらせるのではなく、その場の主導権を握る相談員が示す枠組（選択肢）の範囲内で決め、それを終了の時間まで（途中で変えずに）行うようにしています。

2名以上の小集団の場合は、話し合い、順番制、じゃんけんの勝者が決定などの方法で、他者の意見（決定）を受け入れて活動できることを目指します。

始める際には、最初に「ゲームのルール4か条」を子ども又は相談員と一緒に音読し、項目ごとに「(相談員) 誓いますか?」「(子ども) 誓います!」と宣誓しています。その上で、ゲームのやり方を説明・確認するというルーティンを取り入れています。

また、時間は5～10 分程度に設定し、タイマーが鳴ったら途中でも終わりにする指導を徹底しています。

ゲームのルール 4か条

- ① 負けそうになっても、最後まであきらめないでやります。
- ② 途中でルールを変えません。
- ③ “ちくつと言葉” を使いません。
- ④ 負けてもおこりません。勝ってもいばりません。

▲ 子どもに意識させたいポイントを明確に示すために、意図的に否定形の文末表現を用いています。

担当 学校生活適応支援アドバイザー（飯山・大瀧）
TEL 639-4392